

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：汎用スキル（QC, ものづくり, ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 4 1 6 h 1

初めて他社や大学と共同研究開発を試みる技術者や、自社の契約体制をあらためて整備したい管理職に！ 知財や情報管理で痛い目に遭わないための契約書の読み方や各種条項の書き方の要点、その他法的リスクをポイントを整理して解説します。

共同研究開発における各種契約（秘密保持契約・共同研究開発契約など） で必ず押さえるべきポイント

講師：弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士・獣医師 永島 太郎 先生

2006年 北海道大学 獣医学部を卒業後、農林水産省に入省。2011年 京都大学大学院 法学研究科 法曹養成専攻を修了。司法研修所、大塚製菓を経て2017年より弁護士法人内田・鮫島法律事務所に勤める。また、2021年 鳥取大学 客員教授に着任。2022年「法務部員が選ぶ弁護士ランキング」（週刊東洋経済）知的財産部門 第8位を獲得。

●日程 2025年4月16日（水）14:00～16:30

●受講料 24,200円（税込／テキスト付）※2/16（日）までにお申込の場合、**19,360円（2割引）**となります

I. 導入（契約に関する実践的な基礎知識）

1. 今回の事案
2. そもそも、なぜ契約を締結するのか？
3. B to B の取引における「契約書」の重要性
 - ① 契約書自体がないまま取引が進むとどうなるのか？
 - ② 議事録に記録を残す方法は有効なのか？
 - ③ 基本契約はあるが金額の合意がないまま取引が進むとどうなるのか？
 - ④ 電子メールに記録を残す方法はどうか？
 - ⑤ 終局的かつ確定的な意思表示の合致という視点
4. 契約書は日本語で書かれているから自分で確認できる、というのは本当か？
5. 二つの「そうぞうりよく」と、契約書の大枠のつかみ方
6. 今回の事案における契約の流れ

（秘密保持契約→PoC 契約→共同研究開発契約→利用契約）

II. 秘密保持契約のポイント

1. 秘密保持契約は必ず締結しなければならないのか？
2. 情報管理の基本的視点

- ① 秘密情報の定義
- ② 目的外使用の禁止
- ③ 第三者開示の禁止

3. 秘密保持契約に知財条項は必要なのか？
4. 秘密保持期間は何年くらいに設定すればよいのか？
5. その他の秘密保持契約に関するポイント・注意点
6. PoC 契約とは何か？

III. 共同研究開発契約のポイント

1. 契約の主な項目
2. 契約交渉に入る前に整理すべき事項
 - ① 自社のビジネスの目的はどこにあるのか？
 - ② 自社がバックグラウンド IP を持っている場合に何か事前の対応は必要なのか？
3. 知財条項のポイント
 - ① 知財条項を見る場合の視点
 - ② 発明とは何か？発明者とはどのような者か？
 - ③ 知財の帰属条項について考える
 - ④ 双方が知財の帰属について譲らない場合にどうすればよいのか？
 - ⑤ 利益配分に関する規定の落とし穴を知る
4. その他の共同研究・開発契約のポイント・注意点
5. 今回の事案における利用契約のポイント

※基本的な事項からご説明いたしますので、
契約に関する予備知識が全くない方でもご参加可能です。

<本講座での習得事項>

1. 契約交渉において最も重要な視点（事業戦略の重要性）
2. 契約に関する一般論
3. 情報管理の基礎（秘密保持契約関連）
4. 知財条項の考え方（共同研究契約関連）

<講義概要>

この講義では、AI を用いた企業間の共同研究開発という仮想の事案を使って、一般的な契約に関する実践的基礎知識のほか、もっともポピュラーな契約の一つである秘密保持契約と、他社との共同研究開発の場面では必須となる共同研究開発契約について取り上げます。また、この事案では、①秘密保持契約→②PoC 契約→③共同研究開発契約→④利用契約という流れで進んでいきますが、②と④についても、簡単に取り上げます。

秘密保持契約については、「情報管理の基本的視点」からご説明させていただきますが、これは、秘密保持契約に限らず妥当な考え方であり、広く応用することが可能です。また、共同研究開発契約では、もっとも議論になりやすい知財条項について、そもそも発明とは何なのか、というところから掘り下げてご説明させていただきます。

事案を使って説明を進めていくことから、他社との共同研究開発を進めるうえで起こり得る各種法的リスクに関する重要なポイントについて、具体的なイメージをもってご理解いただくと考えております。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

| | | | |
|--|--|--|-------------|
| 申込講座 | 2025/4/16 共同研究開発における各種契約（秘密保持契約・共同研究開発契約など）で必ず押さえるべきポイント | | |
| 会社名※ | | | |
| 所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small> | 〒 | | |
| 参加者① | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 参加者② | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 支払方法※ | <input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 支払予定日※ | <input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 備考※ | | | |

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

| | | |
|---|--------|---|
| A | FAX | 上記に必要事項をご記入の上、送信ください |
| B | E-mail | 送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください |
| C | Web | https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください |

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

| | |
|--------------|-------------------|
| 振込先銀行 | 三井住友銀行 |
| 支店 | 多摩センター支店（909） |
| 口座番号 | （普） 0 9 7 3 5 2 2 |
| 名義 | 株式会社テックデザイン |

| | | | | |
|-----------------------|---------------|--|------------|--------------|
| 主催 申込・問合せ先 | 名称 | 株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ） | | |
| | 住所 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階 | | |
| | 電話 | 03-6261-7920 | FAX | 03-6261-7924 |
| | E-mail | entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ） | | |